

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	産業経済部		
	課 名	耕地課		
	係 名	土地改良係		
	記 入 者		電話(内線)	182

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	用排水路改修材料支給事業				(3) 事業の 優先度	B	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)			
② 施策コード	31305		(総合計画掲載ページ 97 ページ)			会計区分	一般会計			
基本目標(政策)	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)					財源区分	市単独			
基本施策	3-1元気あふれる農業の振興(農業)					予算科目	款 6		項 1 目 6	
施策	③農村環境の保全					予算書上の	土地改良事業費			
施策内容	5農業用排水施設の整備					事業名称	(予算書 118 ページに掲載)			
(5) 事業期間		開始		年	月から	(8) 事務分類		自治事務		
	終了		年	月まで (		力年)	根拠法令			

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
用排水路の改修を行う団体	農業用排水施設の整備を進め、農業生産の向上を図る
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
結城市用排水路改修工事用資材支給要項に基づき、用排水施設材料等を支給する	
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境、市民ニーズ等) や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
施設が老朽化し、要望は増加している	

3. 事業コスト

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
● 予算内訳		実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)			
(1) 事務事業費の コスト	事業内容	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
	用排水路改修工事用資材支給	6,017	6,047				
	合計	6,017	6,047				
	国庫支出金 (千円)						
	県支出金 (千円)						
	地方債 (千円)						
	その他特定財源 (千円)						
	一般財源 (千円)	6,017	6,047				
	合計 (千円)	6,017	6,047				
補助・起債制度名							

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称			単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	用排水路改修資材支給箇所	目標値	箇所		10	10	10	6	
		実績(見込)値		6	10				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	用排水路改修資材支給	目標値	千円		6,047	6,000	6,000	6,000	
		実績(見込)値		6,017	6,047				
		達成率		100.3 %	100.8 %				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率	%	%					
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	要望箇所が多く農業用施設も老朽化が進んでおり必要性は高い					
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない						
	手段の妥当性	B	どちらとも言えない						
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	要望の内容・状況によっては、他課の工事等に伴い発生するリサイクル品等を有効利用することも必要である					
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	要望箇所の現状を把握しながら偏らないよう支給しているがコスト面ではどうしても偏る場合もあると考える。					
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	支給該当地区に関しては成果があり進捗度は上がっているが、要望量に対して予算が少額のため、全体の進捗度は低いと考える					
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	支給該当地区に関しては成果があり進捗度は上がっているが、要望量に対して予算が少額のため、全体の進捗度は低いと考える					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
少ない予算の中での対応となるため、申請から支給までの年数がかかってしまったり、内容によっては、複数年の継続支給でないと対応できない状況であり、予算確保が最大の問題である									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
予算の確保が最大の問題点であり、厳しい財政状況の中ではあるが、予算確保に努める									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		拡充 (人・モノ・カネ等の拡充)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		拡充 (人・モノ・カネ等の拡充)			農業用施設の老朽化及び農業生産性の向上のため予算を確保しながら、効率的な支給に努めるべきである				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				